

死亡災害ゼロ・アンダー190伊勢

令和6年
7月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から6月30日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、6月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は0人、休業4日以上之死傷者数は91人**となっています。

業種別では道路貨物運送業が大幅に増加しており、事故の型では転倒災害が増加しています。

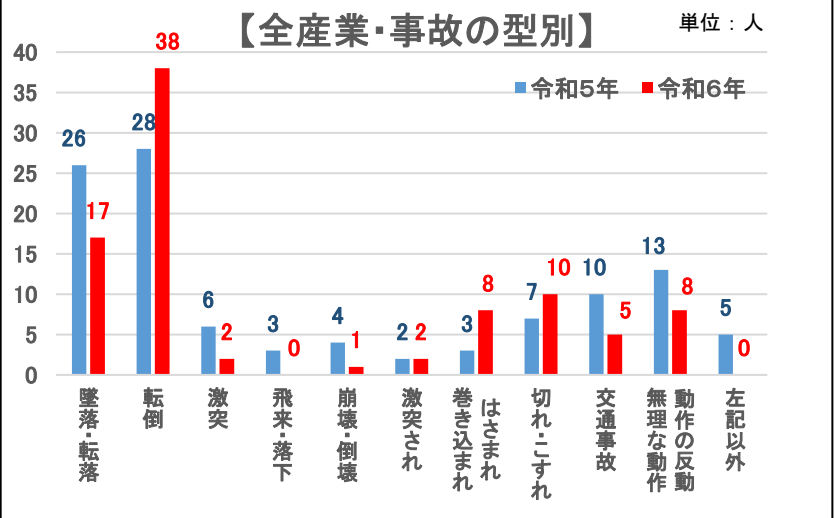
令和6年は令和5年と比較すると労働災害の発生件数自体は大幅減となっている一方、事故の型別でみると転倒災害が10人増加（前年比35.7%増）となっています。

転倒災害は、施設の段差や床の濡れ等をなくす物理的対策（ハード対策）に加え、高年齢労働者の身体機能の低下に起因する転倒リスクの可視化及び身体機能の維持向上（ソフト対策）の両面で対策に取り組むことが重要です。貴事業場における取り組みの促進をお願いいたします。

【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

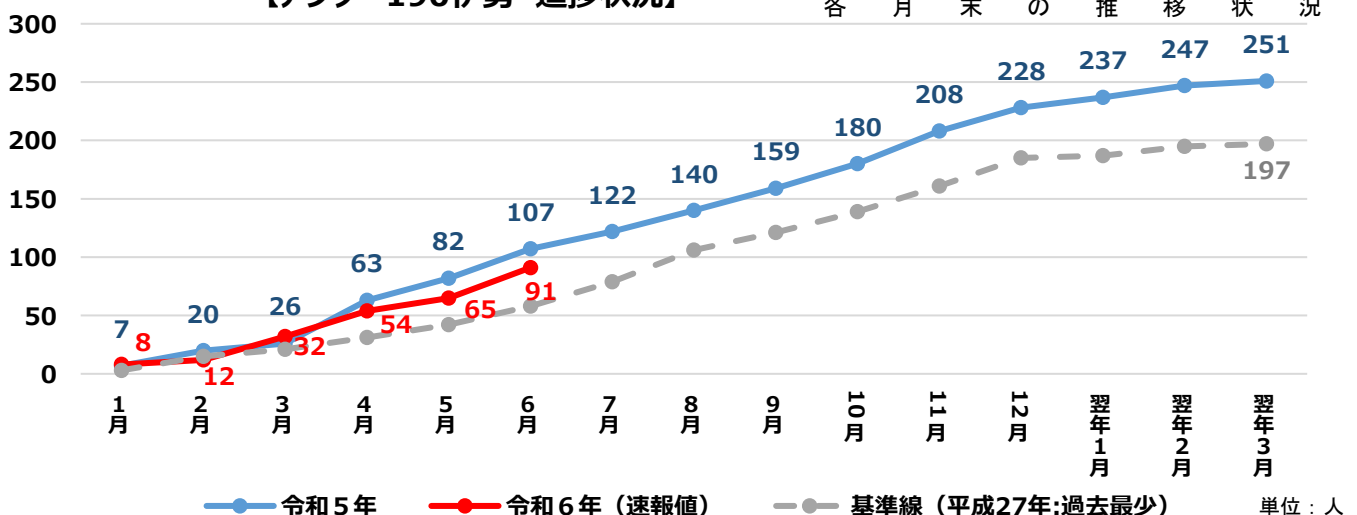
	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	107		91	-16	-15.0%
製造業		20		14	-6	-30.0%
建設業	1	16		9	-7	-43.8%
道路貨物運送業		3		7	+4	+133.3%
林業		2		3	+1	+50.0%
小売業		16		14	-2	-12.5%
社会福祉施設		12		10	-2	-16.7%
旅館業		10		10	±0	±0.0%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



SAFE サポーター（FC.ISE-SHIMA 選手）による 現場パトロールを実施しました！

伊勢労働基準監督署では、令和6年7月5日（金）に、鳥羽国際ホテル（伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社）様において、同社に雇用されるFC. ISE-SHIMAの選手2名と伊勢労働基準監督署長による現場パトロールを実施しました。

また、当日はFC. ISE-SHIMAの選手に対する、令和6年度の**SAFE サポーター就任式**も併せて実施しました。

SAFE サポーターとは、伊勢労働基準監督署の養成研修を受けて労働災害防止や安全衛生活動について学び、**職場での労働安全衛生の意識を高めることを目的とした広報啓発**を担う方々のことです。

パトロールでは、伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社様の案内のもと、さまざまなホテル業務を視察しました。SAFE サポーターとなった選手らは、ゲストから預かったスーツケースなどの荷物をカートに積み込んで運ぶバゲージ作業や、パティスリー部門におけるフルーツのカットや焼き菓子の運搬などの製菓作業のパトロールを通じて、それぞれの作業において危険な箇所がないか確認しました。



↑SAFE サポーターの委任状を受け取る宮寺選手と元廣選手



↑スーツケースをカートに積み込む元廣選手



↑バゲージ作業におけるリスク検討を行う様子

伊勢志摩リゾートマネジメント様では、環境上の制約はあるものの通路幅の拡幅や、対滑性のある靴を配布するなど、さまざまな環境改善を行っていました。



選手らからは、「ゲストから預かった荷物を運ぶときに腰痛となるリスクがある」、「中腰になると腰に負担がかかる」などの指摘を行いました。また、「熱い料理を人に渡すときは『熱いです』と伝えるようにしている」などの労働災害を防止するために気を付けていることを教示しました。

伊勢労働基準監督署からは「荷を運ぶ際の転倒や腰痛が宿泊業をはじめ多数発生している」「水濡れの多い調理場では転倒リスクが高まる」などの啓発を行い、一人ひとりが労働災害防止の意識を高めていくよう呼びかけました。

←パティスリー部門における製菓作業をパトロールする様子



↑パトロール後、全体の講評を行う様子↑

近年、50歳以上を中心に、転倒による骨折などの災害が増え続けています。昨年、伊勢労働基準監督署管内で発生した休業4日以上災害においては、**転倒災害が全体251件中68件とトップの件数**となっています。腰痛などの無理な動作、動作の反動による災害（37件）も合わせると、**全体の4割強**を転倒・腰痛災害（いわゆる行動災害）が占めていることとなります。

伊勢労働基準監督署では、FC. ISE-SHIMAと連携し、**転倒・腰痛災害防止の体操動画の作成など、労働災害防止のための取り組み**を行っています。今年度も新たな動画の作成、イベントの実施などにより、様々な方への労働災害防止の周知啓発を行ってまいります。その他、監督署主催のさまざまな研修会も開催予定です。最新の情報は下記サイト「伊勢労働基準監督署からのお知らせ」から確認できますので、ぜひよろしく願いいたします。

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課
TEL 0596-28-2164



伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

死亡災害ゼロ・アンダー190伊勢

令和6年
8月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から7月31日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、7月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は2人、休業4以上の負傷者数は117人**となっています。

業種別では道路貨物運送業が大幅に増加しており、事故の型では転倒災害が増加しています。

現在の労働災害発生件数は、過去10年で最多であった前年同期と同程度となっています。また、7月には死亡災害が2件発生するなど、死亡者数が過去10年で最多である令和2年、平成29年の3人を超えるおそれのある状況となっています。

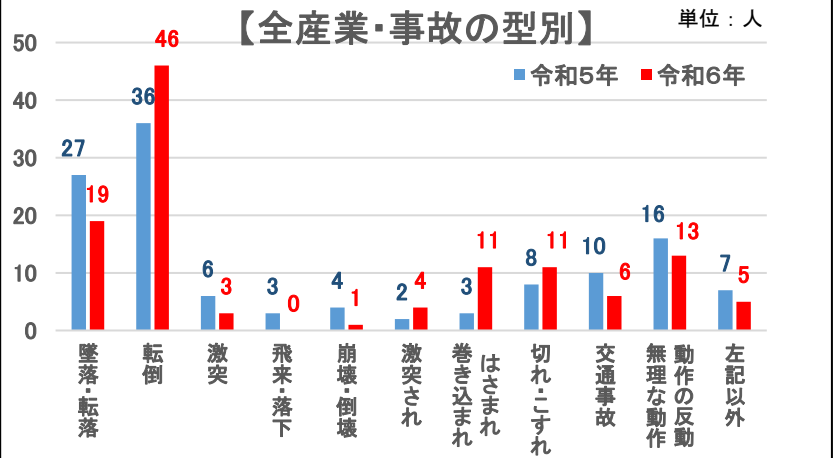
労働災害は決して他人事ではありません。昨日の作業でヒヤリとしたところはなかったか、今日の作業に危ないところがないか、不安全行動をしていないか、改めて自分の仕事を振り返ってみましょう。

【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	122	2	117	-5	-4.1%
製造業		22		18	-4	-18.2%
建設業	1	18	1	12	-6	-33.3%
道路貨物運送業		3		7	+4	+133.3%
林業		2		3	+1	+50.0%
小売業		18		20	+2	-11.1%
社会福祉施設		13		16	+3	-23.1%
旅館業		12		11	-1	-8.3%

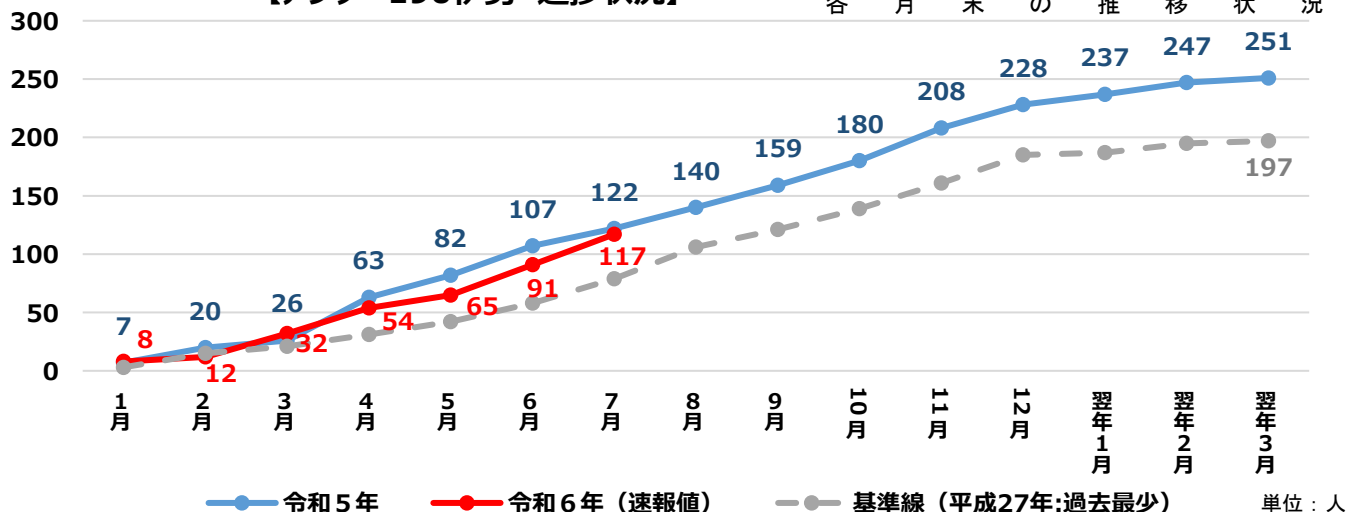
※令和6年の死亡者数は死傷者数の外数であり、死亡者・死傷者の合計は119人となります。

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



第75回 全国労働衛生週間

推してます みんな笑顔の 健康職場

2024年（令和6年）10月1日～7日 [準備期間：9月1日～30日]

厚生労働省では、令和6年10月1日からの1週間、全国衛生週間を実施します。



今年で75回目となる全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に、昭和25年から毎年さまざまな取り組みを展開しています。

労働者の健康をめぐる状況は、気象変動や高齢化の影響を受け、熱中症や腰痛などの業務上疾病の発生が増加しているほか、精神障害による労災認定件数が令和5年度には過去最多の883件となるなどメンタルヘルス対策の強化も求められています。また、化学物質等による重大な遅発性の職業性疾病も後を絶ちません。

そのため、伊勢労働基準監督署では以下の研修会を予定しています。詳細が決定次第、ホームページ「伊勢労働基準監督署からのお知らせ」で周知いたします。

- ・令和6年10月 社会福祉施設の災害防止研修会（転倒災害や腰痛災害防止等）
- ・令和6年11月 メンタルヘルス対策研修会（近年増加しているメンタルヘルス対策等）
- ・令和7年2月 化学物質対策研修会（令和6年4月施行の「新たな化学物質管理」等）

そのほか、FC. ISE-SHIMA(非特定営利法人FC. ISE-SHIMA)と連携し、伊勢志摩地域の労働災害防止に関する各種の周知啓発活動を行っています。YouTubeには、転倒・腰痛防止体操を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

動画はこちらから
「FC. ISE-SHIMA公式YouTube」
<https://www.youtube.com/@fc.ise-shima8525>



令和6年 職場の健康診断実施強化月間

～9月は職場の健康診断実施強化月間です！～

労働安全衛生法では、事業者に定期的な各種健康診断の実施を義務付けているのに加え、健康診断の結果をもとに、有所見者に対する医師からの意見聴取（「通常勤務可」「就業制限」「要休業」といった意見を医師から聴取するもので、労働者自身が精密検査を受けに行くようないわゆる「二次検診」とは異なります）、医師の意見を勘案した必要な事後措置の実施を義務付けています。

特に労働者50人未満の産業医選任義務のない小規模事業場では、有所見者に対する医師からの意見聴取が未実施である事例が散見されます。健康診断は、受診して終わりではありません。この機に健康診断の管理を見直し、労働者の健康管理に活用しましょう。

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課
TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索



死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和6年
9月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から8月31日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、8月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は2人、休業4日以上之負傷者数は150人**となっています。

業種別では道路貨物運送業が昨年同期の2倍と大幅に増加しており、次いで社会福祉施設や小売業などの第三次産業での災害が増えています。事故の型では転倒災害が大きく増加しています。

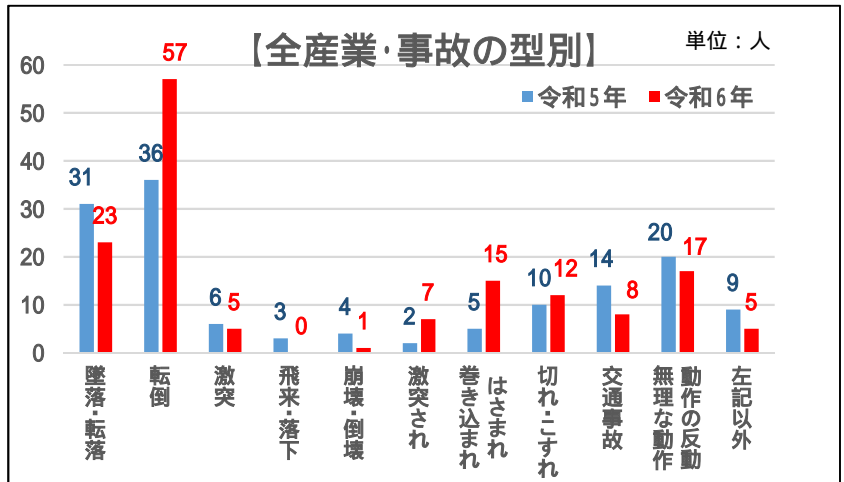
現在の労働災害発生件数は、前年同期を大きく上回るペースで増加しており、今後も現在のペースで災害が発生した場合、過去10年で最悪の死傷者数となるおそれがあります。

こうした現状の中、自身や身近な人が被災者にならないためにも、より一層気を引き締めて業務に臨むようにしましょう。

【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

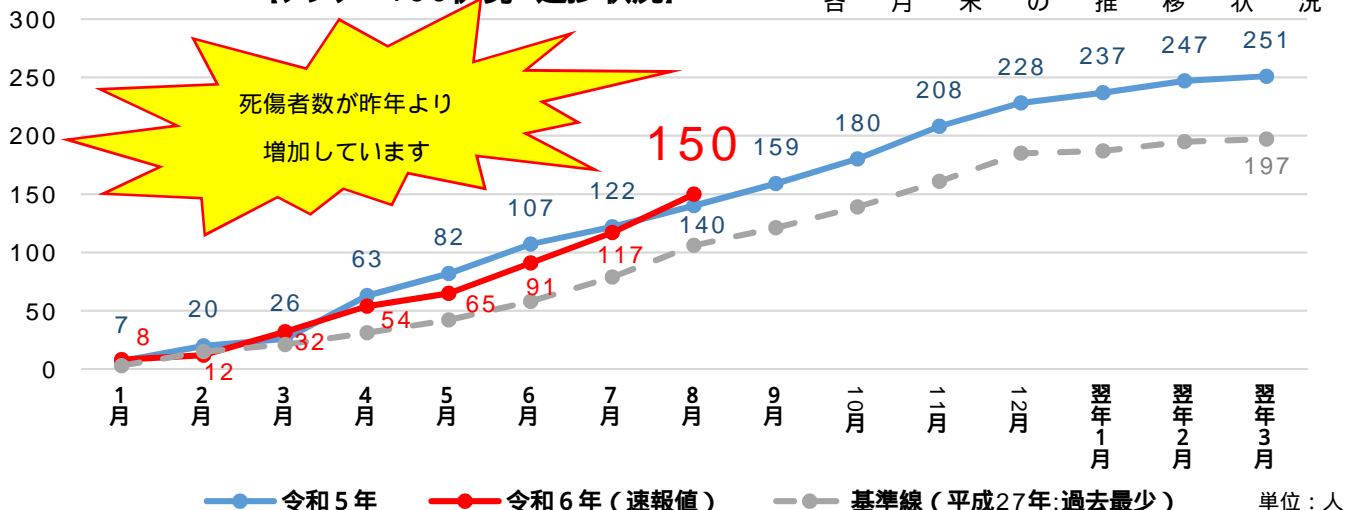
	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	140	2	150	+10	+7.1%
製造業		23		20	-3	-13.0%
建設業	1	19	1	16	-3	-15.8%
道路貨物運送業		4		8	+4	+100.0%
林業		3		3	±0	±0.0%
小売業		22		31	+9	-40.9%
社会福祉施設		15		22	+7	+46.7%
旅館業		13		13	±0	±0.0%

令和6年の死亡者数のうち1件は死傷者数の外数であり、死亡者・死傷者の合計は151人となります。



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



FC.ISE-SHIMA 試合会場にて 災害防止のための啓発活動を実施しました！

伊勢労働基準監督署では、管内（伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡）において多発する転倒や腰痛など労働災害の防止について FC.ISE-SHIMA（特定非営利活動法人 FC.ISE-SHIMA）と連携して取り組んでいます。

令和6年9月15日（日）には、FC.ISE-SHIMAの試合会場にて、特設ブースを設置し、選手たちが実演する「転倒・腰痛災害防止の体操動画」の上映や、特製クリアファイル・うちわなど啓発用資料の配布による広報活動を行いました。

当日は、最高気温が30を超えるほどの真夏日でしたが、会場は試合の熱気と声援に包まれ、大きな盛り上がりを見せていました。また、来場者の中には配布したうちわを使用して涼を取るなど、熱中症対策を行う様子も見られました。

当署では、引き続き FC.ISE-SHIMA と連携し、労働災害防止のための取り組みを行っています。会場で上映した動画は、YouTubeにも掲載していますので、ぜひご活用ください。

（特設ブースの様子）



「FC.ISE-SHIMA 公式 YouTube」
[https://www.youtube.com/
@fc.ise-shima8525](https://www.youtube.com/@fc.ise-shima8525)



伊勢署管内で死傷災害が多発しています！！

実際に自社で怪我をする人が出てしまう前に、リスクアセスメントで事前の対策を行いましょう！

管内では、労働災害により2人の方が亡くなられ、負傷者数も前年同期を上回るペースで推移しています。つきましては、積極的にリスクアセスメントを実施し、災害が起きる前に、日々の仕事の中に潜んでいる危険（リスク）を見つけ、危険を取り除きましょう。

リスクアセスメントの詳細はこちらをチェック



ホーム > 政策について > 分野別の政策一覧 > 雇用・労働

労働基準 > 安全・衛生 > リスクアセスメント等関連資料・教材一覧



職場の安全を応援する情報発信サイト/
職場のあんぜんサイト



お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課
TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索